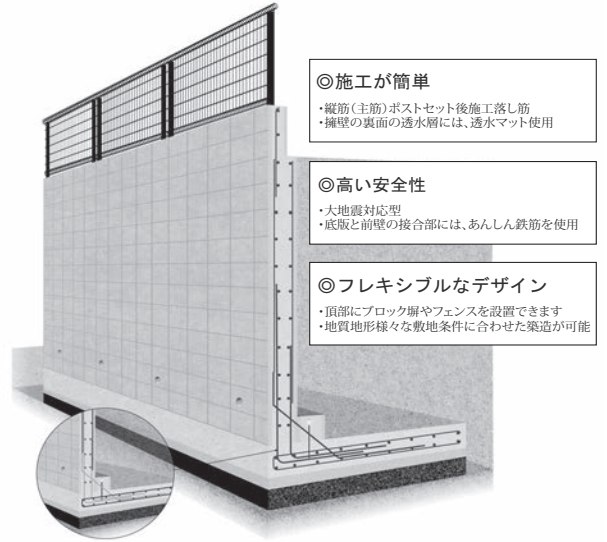


簡単施工で大地震対応

宅地造成のHRM擁壁I型

(株)唐津シービー

国土交通省大臣認定擁壁 大地震対応型
HRM擁壁I型
 フェンス付
 大地震対応
 システムティックな施工に対応



- ◎施工が簡単
 - ・縦筋(主筋)ポストセット後施工着し前
 - ・擁壁の裏面の透水路には、透水マット使用
- ◎高い安全性
 - ・大地震対応型
 - ・底版と前壁の接合部には、あんしん鉄筋を使用
- ◎フレキシブルなデザイン
 - ・頂部にブロック塀やフェンスを設置できます
 - ・地質地形様々な敷地条件に合わせた築造が可能

■ HRM擁壁 施工性の特長

HRM擁壁I型は、施工性が今までの型枠CB擁壁と違い、飛躍的に施工時間を短縮することができます。

底版の施工性	◎縦筋の継ぎ手可能 (張れ止め不要) 立ち上りは約600mm以上で 縦筋は継ぎ手 約600mm以上
	◎縦筋が立っていないので ブロック積みが容易
	◎横筋はウェブに置くだけ ※ウェブにある横筋がホルダーに置いて 置くだけの簡単な施工です。
	◎縦筋は壁壁完 成後、空胴部に 張出し、上層下 層のみを結束。
組積の施工性	◎ハンチ用ブロックを 組積するだけ
	◎ハンチ用ブロック
配筋の施工性	◎透水管を貼り付ける 透水管
	◎透水管を貼り付ける 透水管
ハンチの施工性	◎ハンチ用ブロック
透水層の施工性	◎透水管を貼り付ける 透水管

■ HRM擁壁 性能の特長

今までの型枠CB擁壁では、最大高低差が2.6mまででしたが、HRM擁壁I型なら3.0mまで可能になり、大地震にも対応。CP型枠III型擁壁ではブロック上にフェンスを設置できなかったのですが、HRM擁壁I型ではフェンス付ブロック塀ができるようになり、底版が長く、壁壁が厚かったのを底版が短く、壁壁を薄くいたしました。

最大高さ	◎最大高低差3.0mまで可能 宅地 3.0m
大地震対応	◎対応済
フェンス取付	◎フェンス付ブロック塀が取付け可能 宅地
スリム化	◎底版が短く、壁壁が薄い 宅地 短い

HRM擁壁I型は、縦筋の立ち上がりが約600mmで縦筋の継ぎ手が可能となるため、振れ止めが不要。縦筋が立っていないのでブロック積みが容易となり、横筋もウェブにあるホルダーに置くだけの簡単施工。擁壁を積み上げてから、縦筋と立ち上がり筋の結

建築用コンクリートブロックやHRM擁壁用型枠ブロック(RM型枠)などの製造、販売を手掛ける(株)唐津シービー(唐津市北波多、大野雅由社長)は、住宅敷地の造成などで使用する国土交通省大臣認定擁壁「HRM擁壁I型RM型枠」の製造販売を行っている。施工が簡単で、大地震にも対応しており、頂部にブロック塀やフェンスを設置できるため、フレキシブルなデザインが可能。大手住宅メーカーからも注目される製品で、問い合わせも多い。

東を行う。また、ハンチの施工でもハンチ用ブロックを設置するだけで、型枠が不要となり、宅地側の擁壁面に透水マットを貼り付けることで透水路を施工する。このため、従来の擁壁と比べ、飛躍的に施工時間を短縮することができる。

このほか、同擁壁は最大高低差3mまで施工が可能で、底版と前壁の接合部にエポキシ樹脂塗装鉄筋(あんしん鉄筋)を使用しており、熊本地震や東日本大震災などの大地震(マグニチュード6以上)にも対応した大臣認定工法となる。擁壁の頂部にはフェンス付ブロック塀が取り付け可能で、底版が短く、壁壁が薄いのも特長だ。

同社の大野社長は「我々は『常に良い製品を』『常に創意工夫改善を』『自分の仕事に責任を』をモットーに、コンクリート業界の一流を目指している。これからは、唐津ブランドの品質向上のために、顧客のニーズに応えていくように邁進していきたい」と話している。

「RM自立塀」
 地震に強いRM型枠を使った「RM自立塀」も製造販売している。空洞ブロックの代わりにRM型枠を使用することでRC造と同等の地震に強い塀ができる。

「RM自立塀」

両製品の営業を担当する富永啓太営業本部長は「HRM擁壁用RM型枠は、特に現在九州でブロック製造をしている多数のメーカーに注目され始めています。いずれは建築用空洞ブロックに替わるブロックとして、九州のブロック業界でのシェアを拡大するものと思われまます。『より良い製品を円滑な流通によって』をモットーに、これからも送り届けていきたいと思えます」と話す。

控え壁を必要としない自立塀

空洞ブロックを必要とする控え壁がRM自立塀には必要ないため、スペースを有効に使えます。

従来の空洞ブロックの場合、1.2mを超える壁には、補強のための控え壁が必要です。

強固な構造により、2.6m(見付け高さ)の高さまで控え壁の設置が必要ありません。また、消防法の規定による、耐火壁にも使用できます。



株式会社唐津シービー

本社・工場 〒847-1211 佐賀県唐津市北波多岸山 373-17 TEL: 0955-64-2217 FAX: 0955-64-2213
<http://www.karatsu-cb.com>

大野コンクリート株式会社

本社 〒819-0036 福岡県福岡市西区吉武 61-1 TEL: 092-811-2736 FAX: 092-812-4095
 福岡営業所 〒814-0175 福岡県福岡市早良区田村 7-27-8 TEL: 092-874-5678 FAX: 092-874-5656
<http://www.oono-concrete.co.jp>

株式会社Blofic

本社営業所 〒814-0175 福岡県福岡市早良区田村 7-27-8 TEL: 092-407-9909 FAX: 092-874-5656
<http://www.blofic.com>

株式会社ネオコンクリート

本社・福岡工場 〒814-0175 福岡県福岡市早良区田村 7-27-8 TEL: 092-861-7788 FAX: 092-861-9472
 佐賀工場 〒840-0541 佐賀県佐賀市富士町大字関屋 1637-1 TEL: 0952-64-2111 FAX: 0952-64-2330
<http://www.neo-con.jp>

肥後HKコンクリート工業株式会社

本社・工場 〒865-0111 熊本県玉名郡和水町下津原 778 TEL: 0968-86-4118 FAX: 0968-86-2894

有明コンクリート工業株式会社

本社・工場 〒849-2201 佐賀県武雄市北方町大字志久 698 TEL: 0954-36-2518 FAX: 0954-36-2549
<http://www.ariake-concrete.com>

梅野セメント工業建材販売株式会社

本店 〒811-1101 福岡県福岡市早良区重留 2-5-1 TEL: 092-804-2142 FAX: 092-804-4727